

2025 10/24 (金)～26 (日)

場 所 知恩院真葛庵

時 間 10:00～15:30 (入場は 15:00 まで)

入場料 大人 500 円 中高生 250 円

納骨・回向受納證または三門特別拝観チケットの提示で 400 円

拝観料は文化財保全のための志納金とさせていただきます。

混雑時は外でお待ちいただく場合があります。



没後一五〇年

大田垣蓮月尼と 真葛庵特別公開



Rengetsu Otagaki and Makuzu-an

2025 10/24 (fri)-10/26 (sun)

10:00a.m.- 3:30p.m. (entrance until 3:00 p.m.)

Adult 500yen 12-18 years 250yen

お問合せ：知恩院文化財保存管理部 TEL:075-531-2111



蓮月

江戸時代後期から明治にかけて活動した歌人・陶芸家として知られる尼僧です。

寛政3年(1791)に誕生し、誠と名付けられました。生後すぐに知恩院寺侍、大田垣伴左衛門^{のぶ}光古^{ひさ}の養女となり、知恩院付近で育ちました。33歳で未亡人となり、知恩院大僧正のもとで出家し、蓮月の法名を授かります。同じく出家し、真葛庵住職となった養父とともに、10年ほど真葛庵に住んだとされます。養父没後は京都市内に移り住み、歌を彫った自作の陶芸品を売って生計を立てました。この陶芸品は蓮月焼と呼ばれ、京都土産として人気を博しました。

知恩院の蓮月作品のほとんどは、日本画家で風俗研究家の吉川観方氏より寄贈されたコレクションです。

At the end of the Edo period, Rengetsu Otagaki, a poetess as well as a ceramic artist, hermitized in Makuzu-an.

真葛庵

元は知恩院の塔頭寺院であり、鎮守八幡社の社僧が管理する別当寺でした。その名は祇園社の東から知恩院^{まくずがはら}に掛けての一带を真葛原と呼んだことに由来します。

現在の建物は、明治44年に貴賓室とするため再建され、昭和36年に改築された建物です。

江戸時代から歌会の席や国内外の来賓宿泊所などとして使用されましたが、大正10年には寺院としての機能を福岡県八幡市に移転しました。その後は茶寮として長く使用され、現在も毎月3日に月釜が開かれています。

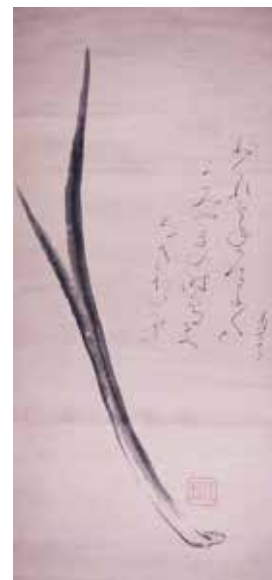
The tea room Makuzu-an was originally a sub-temple of Chion-in. The current building was rebuilt in 1911 as a guest room, and renovated in 1961.



酒を詠める歌 大田垣蓮月 79歳



蓮月焼 ぐい呑み



ネギ面并に和歌 大田垣蓮月 77歳



蓮月焼 狸型手あぶり
(福岡鉄斎遺愛)

表紙上より

- ・蓮月屏風(短冊、色紙絵張交)部分
- ・蓮月茶碗(山里は松の声のみききなれて風ふかぬ日はさひしかりけり)
- ・真葛庵外観



真葛庵内部

総本山知恩院「文化財を守る基金」 ご協力をお願い

知恩院は、経典、仏像、絵画、古文書や建造物など、1万点近くの文化財を所蔵しています。これらの文化財を地震や火災などから守り、保存・修理を行い、未来に引き継ぐため、「文化財を守る基金」を開設しています。皆様のご支援をお願い申し上げます。

郵便口座：01090-6-2949

加入者名：知恩院浄財係

通 信 欄：「文化財を守る基金」とご芳名公表の可否



これまでの修理報告や寄附方法の詳細は知恩院HPをご確認ください▶